

私たちの「広」を 誰もが「ほっと」する そんな「街」に



w a k o u k a i
N E W S

vol. 51
2019
New Year

迎春

2019年
新年あけまして
おめでとうございます

定期記事

お薬知っ得情報
こっから通信
もぐもぐ通信
パナケイア通信

トピックス

呉地区病院対抗ソフトボール大会
人権についての院内教育
ふたばの街イベント
地域交流スペース「輪っはっ葉 (わっはっは)」





地域共生社会の 実現に向けて

医療法人社団 和恒会 理事長

織田一衛

日本における精神病学の創立者東京帝国大学医科大学精神医学講座教授呉秀三は、『精神病患者私宅監置ノ實況及ビ其統計的觀察』（1918年）の中で『わが邦十何万の精神病患者は実にこの病を受けたるの不幸の他に、この邦に生まれたるの不幸を重ねるものというべし』と述べている。1957年から25年間に渡り日本医師会会長を務めた武見太郎は、精神科病院を「牧畜業」であると酷評した。Mary Obaraは「慢性の病を持つ患者の家族や、彼らを治療する専門家には、ステイグマ（社会的不利益）と羞恥心に対する鋭い感受性が必要不可欠である。この感受性によって、慢性の病の人々のケアにおいて危機にさらされていることに関わり合うことになる。すなわち、患うことの生きられた経験の重荷に耐えるよう、すすんで助力することになるのだ。」と述べている。

多くを民間病院に頼ってきた日本の精神科医療の致命的な欠陥は、精神疾患患者はそのほとんどが完全に治癒しないし社会生活をおくる上であまりにも障害や受ける偏見が大きすぎるから保護されるべき存在だという社会の側からの勝手なパターンリズム（強い立場にある者が、弱い立場にある者の利益のためだとして、本人の意思は問わずに介入・干渉・支援すること）を口実にして、病者のステイグマに対して効果的なアクションを積極的に起こさなかったことにある。その結果として、日本においては、今もなお、年余にわたる社会的入院を余儀なくされている多くの精神障害者が存在する。

翻って、精神科病院であるふたば病院の現状はいかかなものだろうか。先般施行した調査によると、約百九十名の入院患者のうち半数は社会的入院であると考えられなくもない。また、認知症以外の患者の平均年齢も60歳を超えている。すなわち、認知

症以外の入院患者の半数近くは医療の対象ではなく、すでに介護や障害福祉サービスの対象となっている可能性が高い。我々は、2004年9月に厚生労働省精神保健福祉本部で策定された「精神保健医療福祉の改革ビジョン」における「入院医療中心から地域生活中心へ」という理念を体現するための「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された）の構築」に資する和恒会にパラダイムシフトさせる必要がある。

医療としてのふたば病院は、認知症疾患医療センター、重度認知症デイケア、老人性認知症疾患治療棟、回復期（リハ）病棟に機能分化することで認知症の治療・リハビリテーションのワンストップ型システムを構築し、呉・江田島二次医療圏における認知症治療の基幹病院を目指す。さらに、現在の和恒会には存在しない在宅医療と連携し、従前より運営している居住型介護事業所をすそ野にして、中腹には通所系サービスがあり、頂上には介護老人保健施設が存在するような富士山型の新しい地域包括ケアシステムを運営できれば、「我が事、丸ごとの地域共生社会」構築も可能であろう。その際、介護老人保健施設パナケイアは2018年介護報酬改定で示された在宅復帰超強化型施設として、呉市の医療機関・介護事業所・在宅医療等と連携をとれる生活期リハセンターへ成長しなければならぬ。



新年のご挨拶



ふたば病院院長

高見 浩

あけまして
おめでとーございませす

昨年お世の中では様々な出来事がありましたが、とりわけ災害というものの恐ろしさを実感した一年でした。6月の大阪北部地震、9月の北海道胆振東部地震、そして何より7月の西日本豪雨災害ではこの地域において直接的あるいは間接的に被害に遭われた方が多くおられたことと存じます。亡くなられた方には心よりご冥福をお祈り申し上げます。またお怪我をされた方や今なお避難されておられる方、生活にご不便をなさっておられる方には心よりお見舞い申し上げます。当院は幸い診療に大きな支障をきたすほどの被害はありませんでしたが、水と食料の確保では日々その対応に追われ、先の見えない不安との闘いでした。県や市、自衛隊、そしてたくさんの方々からのご支援のもと何とか復旧したおりに本当に安堵した次第です。支えていただきましたみなさまには、今一度この場を借りまして感謝申し上げます。災害は実際に遭ってみたいとその恐ろしさがなかなか理解できないと言われますが、このたびの豪雨災害で深く反省し、大きな教訓をええました。災害が起こっても病院機能をできるだけ維持

持できるように、平日頃から準備をしておく大切さを身に染みて感じました。物品の確保やその手順の確認、緊急時の対応マニュアルの定期的な見直し、そして何より普段からの心の準備など今一度徹底していく所存です。

今なお様々なストレスからこころの不調をきたしておられる方が少なからずいらっしゃると思います。そういった方の精神的サポートを少しでもお手伝いさせていただきます。これは地域精神医療を担う当院の使命と考え、広島県が実施する「広島こころのケアチーム」に当院も参加させていただいております。こういった活動も通じ、当院の理念にもあります「和のこころを恒に以って、みなさまに安心して信頼される病院を構築」できるように、これからも地域のお役に立てればと心より願っております。

最後に、本年が地域のみなさまそして当院にとりましてよい年となりますようにお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



高齢者生活支援部長

石川 英俊

新春のお喜びを申し上げます

皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は何かとお世話になりました、大変ありがたうございました。

高齢者生活支援部では医療法人社団和恒会

の介護保険施設のご利用者様、入居者様の生活支援をさせて頂いております。

昨年からテレビのニュースや新聞各紙で、外国人技能実習生の受入に関して、多く報道されています。現に介護職の人材不足の波が広島市、呉市にも押し寄せてきていることを感じざるを得ない状況です。これから先、施設のご利用者様、入居者様に人材不足によるご不自由をおかけしないためにも、また、良質で丁寧な介護を提供できるように研鑽していく所存です。

高齢者生活支援部事業所職員を代表して、ご挨拶させて頂きました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



老健施設長

石井 孝二

あけまして
おめでとーございませす

介護老人保健施設パナケイアは、今年4月で開設22周年になります。これまで当施設を支えてくださいました地域の皆様、利用者様、御家族様、地域の医療福祉関係の皆様にご心より御礼申し上げます。特に昨年7月に起こった西日本豪雨により、当施設も1週間の断水、空調設備の停止等に見舞われました。様々な方面から多大なる援助を頂き、利用者様の健康管理等に大きな問題は起きませんでした。大変感謝致しております。

さて、昨年広島東洋カープはセントラルリーグ3連覇を果たしました。以前と比べて昨シーズンは必ずしも「楽勝」とは言えなかったと思います。残念ながら日本シリーズで敗退し日本一の栄冠はつかめておりませんが、今シーズンもファンを楽しませる野球をしてくれると思います。

野球チームには監督をはじめ、コーチ、投手（先発、中継ぎ、抑え）、野手（捕手、内野、外野）など様々な役目をもった人たちがいます。監督やコーチの指示に従い、あるいは自分で判断してプレーをしています。パナケイアにもリハビリテーション職（言語聴覚士、作業療法士、理学療法士）や介護職、医療職、栄養士、支援相談員、ケアマネージャー、事務職など多彩な職種や人材があり、利用者様やご家族様の御要望についてそれぞれの立場から専門的な意見を出し合い対応しております。

昨今、介護老人保健施設には介護やケアのみならずリハビリテーションや医療、認知症への対応、さらに看取りへの対応など多様な役目を期待されております。パナケイアは地域包括ケアシステムの拠点の一つとして、利用者様の家庭復帰や社会復帰、在宅での生活をサポートしていきます。施設職員一同、癒しの心をもつて地域に愛され頼りにされる場所でありたいと考え、行動していきます。

本年も相変わらぬ御指導・御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



お薬についての質問がある方は、お気軽に薬剤師へお声掛け下さい。

お薬知っ得情報

Vol. 9

漢方薬の気になるところ③

前回は漢方薬の相互作用・生薬の重複について説明しました。今回は高齢者の漢方薬服用のポイントについてです。

飲み方の工夫

- ・口内の乾燥が気になる
- ・歯（義歯）に挟まる
- ・喉につかえる



- ①多めの水で服用する。
- ②白湯（さゆ）に溶かして服用する。
- ③口の中を湿らせるため、あらかじめ水を含む。
- ④嚥下困難には服薬補助ゼリーやオブラートを使う。

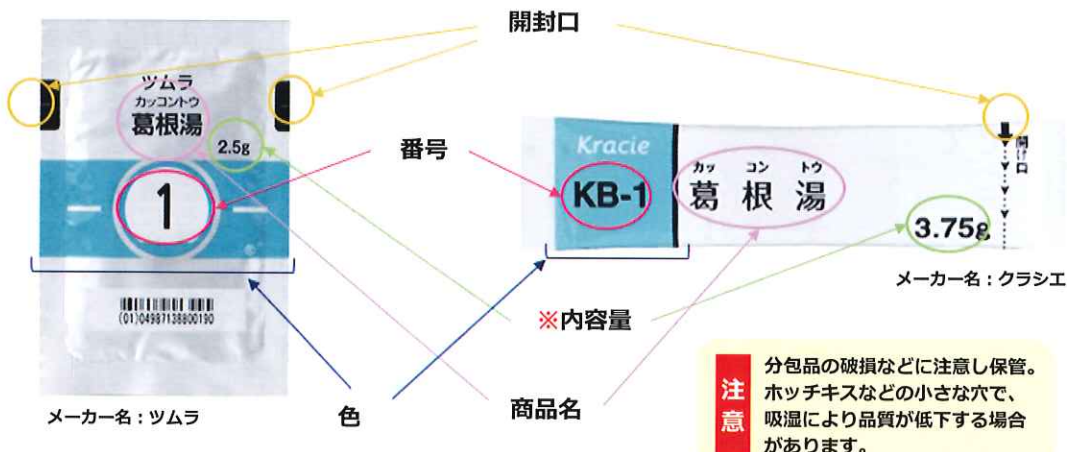
誤飲防止

- ・聴力や視力に障害がある



- ①袋（ヒートシール）の色や番号などで覚える。
- ②処方内容や飲み方の説明を繰り返し口頭確認する。

漢方包装の見方



※日本薬局方では処方での生薬をどのくらい使うのかを厳密に定めています。ただし、登録されている処方では複数存在する為同じ漢方薬なのにメーカーによって各生薬分量・1包の総量が異なることがあります。例えば、葛根湯の登録処方では全部で4種類あり、それぞれの生薬成分のバランスが微妙に異なります。ただ、実際の治療効果に大きな影響は認められないと言われています。

注意 分包品の破損などに注意し保管。ホツチキスなどの小さな穴で、吸湿により品質が低下する場合があります。

服薬介助 / 漢方薬の管理・確認

介助されている・している

薬は起き上がって（座って）飲むうね。



- ①からだを起こして服用する・させる。
- ②水での服用が難しい場合は、片栗粉などでとろみをつける。
- ③正しい服用方法、残薬の有無をお薬手帳で確認する。

参照：株式会社ツムラ アドヒアランス関連資料より

参考 服用サポート

唾液腺の刺激

（口内に炎症や発作のある人は避けましょう）

唾液の分泌を促して
口内の乾燥予防・誤嚥予防



参考：厚生労働省 e-ヘルスネット

耳下線マッサージ

親指以外の4指を頬に当て、上の奥歯のあたりを後ろから前へ10回回わす。



顎下線マッサージ

両親指を顎下の骨の内側に当て、耳の下から顎の下まで、5か所を各5回押す。



舌下線マッサージ

両親指を顎の上がった部分の内側に当て、突き上げるようにグーっと、10回押す。





認知症家族のつどい

こっから通信



Vol. 8

平成 30 年度 第 4 回の様子



当院薬剤室の田村薬剤師より「薬と食べ物の相性についての講義を行いました。昨年までは認知症に関する薬の話や、サプリメントについてご家族の皆さんにお伝えしてきましたが、今回はいつもと趣向を変えて薬と食べ物との相性についてのお話でした。薬と一緒に摂る食べ物によって、薬の効果を弱めたり、強めすぎたりしてしまう場合もあるようです。認知症に限らずご家族自身が飲んでいる薬とも関係のある話でもあったので、みなさん興味津々でたくさ

んの質問もいただきました。実は、薬と食べ物の相性についての研究はまだ始まったばかりなようで、これからの研究で明らかにされるが増えていくのでしょうね。いつか新たな発見や情報を含めて、みなさんにまたお伝えできればと思います。乞うご期待！

その後の座談会でも薬のテーマと絡めてどうやってご本人に薬を飲んでもらっているか、というみなさんの工夫についての情報交換も行われていました。薬の後味の苦さを軽減するため甘いものを口に含んでもらったり、ご本人が飲む気になれるようなオリジナルの声かけをされているようで、日頃の介護の中で試行錯誤を重ねているご様子です。

他にも、環境が変わるとご本人がパニックになってしまうという声をきっかけに、利用する施設もなるべく決まった場所に行っているという工夫もきかれ、みんなであなずき合いました。きつと、環境の変化のご本人への影響の大きさや、ご本人が体験する動揺の強さは私たちが想

像する以上なのでしよう。さらに、ご本人の様子が変化してしまつたことで今後どう支えていくかに頭を抱えている方もいらっしゃるしやう、それも家族ならではの苦悩の一つなのかもしれせん。今後のことを思い悩む気持ちも一人で抱え込みすぎずに、少しでも「こっから」の場でも共有していけたらスタッフ一同幸いです。

今回は当院作業療法士による講義、「認知症作業療法士の役割」症状の経過（初期・中期・後期）に応じた取り組みについて」を予定しています。前回は棒を使った体操を紹介させてもらいましたが、今回はどんな内容なのでしょう？ご興味がある方は、ぜひのぞいてみてください。



今後の予定

第 5 回 平成 31 年 1 月 19 日 (土) 10 時 30 分～ 12 時 講師：作業療法士
第 6 回 平成 31 年 3 月 16 日 (土) 10 時 30 分～ 12 時 講師：管理栄養士

お問い合わせ・新規でのお申し込みは当院受付またはお電話でお問い合わせください。

電話番号

0823-70-0555

受付時間

月～金曜日
8 時 30 分～ 17 時

担当

家族のつどいスタッフ 川本・来島(くるしま)



地域交流スペース「輪っはっ葉」

11/24(土) オープン!

開催時間：午前10:30～午後3:30



地域交流スペース「輪っはっ葉 (わっはっは)」



11月24日土曜に川尻・安浦地域包括支援センターと地域交流スペース輪っはっ葉のお披露目をしました。

当日は、30人程度の参加者が来られました。地域の方、地域の事業所のスタッフが来てくださいました。

月曜日から土曜日の8時半から17時まで輪っはっ葉は営業しています。お気軽にお寄りください。



人権についての院内教育が実施されました

12月15日に呉市人権センターの講師をふたば病院にお招きして職員向けの院内研修が開催されました。

病院会議室で約一時間、自由、自信、安心をキーワードに人権について講義をしていただきました。

思い込みバイアスの危険性を踏まえ、ご高齢の方や障害をお持ちの方に対する際の注意点等について分かりやすく説明をしていただきました。

ちなみに講義資料が入っていたクリアフォルダは人権啓発ポスターの入選作品入りでした。「笑顔、むてき！」素晴らしいですね。

和恒会では患者様、利用者様の人権を守るという観点から今回の講義内容を業務に生かしていきたいと思っております。

和恒会 TOPIC

和恒会の旬な情報をお届けします。



新生ふたばの憩い始動



平成30年12月1日より、ふたばの憩いが15人定員の地域密着型通所介護から30人定員の通所介護に移行致しました。

毎日、お茶、生け花や手芸等、その他レクを通して利用者の皆様楽しんで頂きながら過ごして頂いております。

見学や体験利用も随時受け付けておりますのでお気軽にお電話ください。

ふたばの憩い 担当 藤井
電話 082317613315



呉地区病院対抗ソフトボール大会

11月4日(日)呉市警固屋グラウンドで「第28回呉地区病院対抗ソフトボール大会」が開催された。

呉市の病院から8チーム参加。和恒会からは「チームWAKOKAI」の和気あいあいメンバーと黄色い声援飛び交う賑やかな応援団で臨む大会であった。

結果は、1回戦の呉医療センターに一時は圧勝か!?と思わせる試合展開であったが、底力の違いを見せつけられ、惜しくもサヨナラ負け。2試合目は敗者復活戦、前年度優勝のマツターホルンリハビリテーション病院。あわやワールド負け!というピンチを乗り越えるも相手の重量打線に翻弄され、2敗目を喫してしまっ。しかし、そこはWAKOKAI和気あいあいメンバー!!勝利者チームのごとく記念撮影では満面の笑顔で「はい、チーズ!」(笑)

パナケイア通信

「愛あるリハビリと癒しのこころ」

第56号

12月

運動会を開催しました

「スポーツの秋」と題しまして、2階では運動会を、3階では風船パレーを行い、しっかりと体を動かしてもらいました。
「あの人、あんなに動けたんじゃね」等、入所者同士で話が盛り上がっていました。



3階では学生さんと一緒に風船パレーを行いました!!
「若い子らにや負けんね!!!」



まがらんじゃろ!
もう少し傾けてい!

お菓子取り競争を行いました。
「お菓子まで手が届かん! もう少し下げて!!!」
と皆様、必死に頑張りました!!!

実施イベント

【老2】	
紙芝居	12月11日(火)
音楽療法	12月14日(金)
クリスマス・忘年会	12月25日(火)
喫茶・誕生日会	12月28日(金)
【老3】	
音楽療法	12月12日(水)
誕生日会	12月19日(水)
クリスマス・忘年会	12月26日(水)
【デイケア】	
生け花	12月12日(火)、13日(水)
年納忘年会	12月19日(水)

2階、3階ともに1歩も譲らない闘いが続き、偶然にも引き分けて幕を閉じました。
「ええ勝負じゃったね」とお互いの健闘を称えました。



チャイ



もぐもぐ 栄養士の通信

～香辛料で寒い冬を乗り切ろう～

香辛料とは調理の為に用いる芳香性と刺激性を持った植物のことを指します。
日本には山椒や山葵、胡麻、生姜など独特の香辛料がありますが明治維新後に西洋文化と共に多くの香辛料が入ってきました。
適量の香辛料を使用することは体にもいいと言われます。
寒い冬は家にこもりがち。香辛料を使った温かい飲み物で寒い冬を乗り切りましょう。

〈材料〉

水	250 cc	シナモン	小さじ 1/4(パウダー)
紅茶	小さじ 1 と 1/2	カルダモン	小さじ 1/4(パウダー)
砂糖	大さじ 1	クローブ	1 個
牛乳	100 cc		

〈作り方〉

- ①鍋に水、紅茶、シナモン、カルダモン、クローブを入れて火にかけて沸騰させる。
- ②沸騰したら砂糖を加えて弱火にして3分ほど煮出す。
- ③3分たったら再び強火にして牛乳を加える。
- ④ふきこぼれる前に火を止めて茶こしなどで濾しながらカップに注ぐ。

チャイは茶を意味する言葉。
インド式に甘く煮出したミルクティーを指します。

ふたば病院の理念

ふたば病院は、「和」のこころを「恒」に以って、みなさまに安心して信頼される病院を築いてまいります

ふたば病院の基本方針

私たちは、人権の尊重と倫理の遵守に基づいた医療を提供いたします

私たちは、相手（接する人）の気持ちを思いやり、尊重するように努めます

私たちは、日々研鑽し、医療サービスの向上に努めます

私たちは、医療に携わる人材の育成に努めます

私たちは、地域精神医療の中核的役割を果たし、地域に貢献できるよう努めます

患者様の権利

良質の医療を平等に受ける権利があります

診療に関する各種情報の提供を受ける権利があります

個人としての人格・価値観を尊重される権利があります

十分な情報提供と説明のもとで、どのような医療を受けるか選択する権利があります

診療に関する情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

外来担当医表

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
精神科（再診）	渡邊	渡邊	今中	今中	高見 福本	福本	小鶴	小鶴	高見	今中	新宮	新宮
精神科（初診）※1	今中		新宮		渡邊		福本 高見		小鶴			
物忘れ外来				※2				※2				
内科								(山下)	(野間)			

日曜・祝日は休診 ※1 初診は原則、午前の予約のみです。 ※2 認知症専門外来（予約制）



医療法人社団 和恒会

〒737-0143 広島県呉市広白石 4 丁目 7 番 22 号

TEL 0823-70-0555

FAX 0823-70-0557

<http://wakokai.jp/>

和恒会

検索



ふたば病院
介護老人保健施設 バナケイア
広島県認知症疾患医療センター
居宅介護支援事業所 ふたば
訪問介護事業所ふたば
認知対応型共同生活介護 ふたばの家
共同生活援助 ふたばの丘

地域活動支援センター ふたば
短期入所生活介護事業所 ふたばの里
高齢者複合福祉施設 ふたばの街
特定施設入居者生活介護、ふたばハイツII
呉市川尻・安浦地域包括支援センター
共同生活援助さくらんぼ